レッスン：PYR No.72

テーマ：復習

PYR No.72 KE07/16/06/07

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光そして火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性の中に抱かれています。

 このレッスンではこれまで与えられたことを復習していきます。絶対存在は一つですが、それは多重性のステートにいて、そのワンネスの中には無数のスピリットモナドセルフがいると説明しました。

　Lifeは動き・振動・波動によって特徴づけられる、と述べました。そしてこれらの特徴なしにはLifeはありえず、そして勿論、絶対Life、絶対存在にはこれらの主な特質がある、と述べました。

　そしてこの活動の結果として、その結果があるのです。なぜなら、原因であるその動き、活動がある時はいつでも結果があるからです。そしてその結果とはディバインの黙想です。そしてディバインの黙想の結果として、創造界があります。そして創造界とはディバインの黙想の動き、活動であり、同時にLifeの現れがあり、そしてディバインの黙想の活動の中に、様々なイデアを通じた現れがあります。

　さて、なぜこのディバインの黙想なのでしょうか？それはこの動き、活動の結果であると言いましたが、その動き、活動がLifeの主な特質の一つなのです。しかし、この黙想の背後にはやるべき仕事があるのでしょうか、それはLifeそれ自体に奉仕するのでしょうか、絶対存在はディバインの黙想によって奉仕されているのでしょうか？答えはノーです。絶対存在にはいかなるニーズ、必要性はありません。それなら、それは何を奉仕するのでしょうか？特定の仕事に達する結果として､何が得られるかというと、それはディバインの黙想のなかでの現れそれ自体です。

　その仕事が達成されるために、様々なイデアを通じた現れがあると述べました：人間のイデアそして聖霊的イデアです。その仕事は人間のイデアを通じて達成される必要があります。他の全てのイデアは人間のイデアを助けて仕事が達成されるためにあるのです。そして勿論、その仕事とは仕事の達成に向けてそのプロセスを助けることです。

　何がその仕事に到達するのでしょうか？現在のパーソナリティーです。そしてレッスンのなかで、それがどのように達成されるのかを説明しました。またこの創造界における他の現れについても述べました、そして創造界、そして創造界におけるどんな現れであれ、それは絶対存在のアウタルキーの中にあり、絶対存在の外側には空間はない、と述べました。この動き、活動の結果として、いわゆる７つのヘブンが創造され、それらが何であるかを説明しました。上の４つのヘブンは元型、イデア、法則、原因の諸世界です。そして３つの下位のヘブンがあり、それらは実存の諸世界であり、この実存の諸世界がこの仕事に達成において主な役割を演じています。それら３つのヘブンは現在のパーソナリティーの諸世界です。

　私たちはまた創造界における諸法則について述べ、最大の法則は創造界の元型、創造界の骨組みであると説明しました。そして天人によって与えられる元型としての人間のイデアフォームがあります。

Page2

 人間のイデアに奉仕するためにアークエンジェル達によって創造されたエレメンタルについても説明しました。様々なアークエンジェルのオーダーについて説明し、それらはマインドの低次の波動を意味します。そしてマインドとは何か、そしてマインドと絶対存在との関係について述べました。

　二元性について説明し、それは主に現在のパーソナリティーによって現され、その二元性は

現在のパーソナリティーがLifeの本質を現わさないのを助け、同時に同じ法則は最初にアダムとイブとしてのパーソナリティーが二元性と性別を現すのを助け、それらの同じ法則は現在のパーソナリティーが自己実現に到達し、Lifeの真の本質を現すのを助けます。私たちはこれら全てについて過去に詳しく説明しました。

　そして再び、ごく最近、まずパーソナリティーが自己実現に到達すると最初はパーソナリティーとしての人間を現し、後にはそれらのパーソナリティーは現れの手段として高次ノエティカル体を使用すると述べました。そしてその体を使用することによって、いまや性別のないパーソナリティーとなった人間は私たちがキリスト意識と呼ぶステートを現します。今や完全に再形成されたサイコノエティカル体は自己実現の時には一つの能力として使われ、それによってパーソナリティーは新しい転生のためにそれを使用することができるのです。

　以上があなた方に与えた知識の概括です。より詳細にここで復習することはできませんが、しかし皆さんは過去のレッスンを読んでください。

Q：進化成長のプロセスにおいて絶滅する生き物もいますが、それは惑星ロゴスがアレンジする自然なプロセスなのですか？

K：絶滅した種は人間にある経験を提供しました。さて、惑星ロゴスがそのようにして物理的現象をアレンジし、その結果私たち各人が的確な経験を積み、先に進めるようにしたのか否かですが、答えはイエスです。霊的成長の印として人々は肉を食べないという考えは正しくありません、なぜならば植物もそのなかに生命があるからです。

　例えば、この地球上で私たちの行為と生き方の故にある種が絶滅したとすると、それも最終的には私たちにとって益となるのです。なぜなら、この惑星上で起きる全てには理由があるからです。私たちがそれに介入することは私たちにとって困難をもたらすかもしれませんが、しかしそれが私たちの益にならないという意味ではありません。

Q：科学は細胞を使って絶滅した種を再生させると言われています。

K：どのような目的のためですか？もし例えば彼等がそれらの恐竜たちをもう一度創造するなら、それらの恐竜がもたらす害を認識したとき、即座に彼等はそれらを絶滅させるでしょう。

　個人的に私にはそれらの目的が理解できません。恐竜はその目的に奉仕しました、それで終わりです。人類は前進していく必要があり、さもないと過去に戻ることになります。もしある動物が地球上における人類の“生存”の助けになるのなら、それを保護しますが、しかしそうでない場合にはそうしません。

Q：しかし破壊が進行するのを見るとき、それらを保護しないと絶滅の危険もあります。なぜなら、究極的には私たちにとって益になるからです。

K：だからといって、将来何が起こるかを心配すべきではないということにはなりません。私たちは保護するためにベストをつくすべきです。しかしそれは、もしある特定の種を絶滅させることに“成功”するなら、それで終わりということではありません。いいですか、もしそれが私たちにとって益になるのであれば、ディバインのプランはもし私たちが何かを絶滅させようと試みても、それを許さないことでしょう。もしそれが人類にとってベストなことでないなら。

　物質の中では多くの有機物が創造される可能性があり、海のなかでは多くの有機物が存在していたけれど、もはやどんな目的にも役立たないということもあります。可能性はそこにあり、そこにとどまるでしょう…地球の目的に役立つ限りは。

Q：私たちの太陽系の太陽は生きているユニットだということですが、惑星ロゴスはそこにいるのですか？

K：ノー、太陽は私たちの太陽系のために生命を与える中心であり、私たちの太陽系の全ての惑星を支えています。さて、太陽のロゴスは惑星ロゴスとまったく同じですが、しかしそれは太陽系を管轄しており、惑星、銀河系、超銀河その他などのロゴスの仕事と連携して働いています。

Page3

　さて、火を管轄する存在があるか否かというと、答えはイエスです。無数のLifeと共にそこにはLifeがあり、それらは太陽または他の天体にあるステートを維持するために働いています。アークエンジェルの全てのオーダーがそこにあるかと言えば、答えはイエスです。

それはそれ自体のシステムのためのLifeの源です。

Q：それではあなたが惑星ロゴス、太陽ロゴスと言うとき、それは一つのユニット（＊ここでは1つの部隊）ではないのですか？

K：勿論違います。惑星ロゴスは一つであり、その惑星あるいは太陽を維持するアークエンジェル達の仕事を調整しています。しかし、惑星ロゴスはその惑星の物理的現象を管轄しています。

太陽ロゴスも一つですが、しかし私たちはそれについて詳しくは知りません。

惑星ロゴス及び他のロゴスは説明したように、自己実現したスピリットモナドセルフからのスパークであり、それらのロゴスには自己実現した人間としての“経験”があります。そしてそれは今や、自己実現したモナドセルフとなっています。それがどのようになっているかに関しては、既に分析してきました。

Q：聖書によれば、エデンの園には2本の木があって、それらは知識の木と生命の木だということですが…そこには2本の木があったのですか？

K：創造に関して、さまざまなシステム（＊理論、考え方、組織）がそれ自身の理解に従って説明しています。創造の諸世界と様々なレベルに関して述べた唯一のものが福音書のヨハネです。そして勿論、全ては比喩的に彼から与えられました。彼は7つのローソク、7つの教会、そして7つの星について話しました。しかし、元々はキリスト教の信念、キリスト教の教会を形成した書き物はもっと沢山あって、リアリティーに関しても多くの他の信念、考え方も含まれていました。そして書物では転生についても説明していました。

　しかし、現在でももし聖書を注意深く読めば、彼等が全てを消去することに成功しなかったことがわかるでしょう。結婚式においても、教会は行っては戻る、行っては戻ることについて話しますが、それは私たちが何回も来ては行くことを意味しているのです。

Q：７という数字にはどんな重要性があるのですか？なぜなら何回もそれが出てくるので。

K：7つのヘブンがあり、創造界の全ての世界を含む七芒星があります。しかし、私たちはそれについては話しません。なぜなら、それはLifeそれ自体に関することだからです。また4つのエレメント＋３があり、それもまた7つになります。そして7つのアークエンジェルのオーダーがあります。

　諸世界は７という数字をベースにして創造されています。それは法則であり、７という数字は聖なる数です。勿論、それら全て、あるいは2つの数の間の関係もそうですが、しかし７という数字は創造それ自体の基盤なのです。

Q：太陽系が解消されるとき、それはリサイクルされるということで、それは解体され、エネルギーはどこかに引き寄せられ、そして特定のレベルの濃度に到達した時、それはそのエネルギーを放出して新たなシステム（＊系）をつくります；ですからこの諸宇宙ではそのようなリサイクルが行われているのですね。

K：リサイクルですか！Lifeは何でも無から創造することができるのです、なぜなら私たちはLifeが何であるかを知らないからです…Life、それは創造界において全ての原因となるものです。私たちが無と言う時、それは話しの上でのことです。なぜならLifeはその中に全ての可能性があるからです。そしてもしそれがどこから来るのかを考えるなら、それには始まりがあって、そこからこれ全てが始まったのです。

　この肉体の中にあらゆるウイルス、虫さえもいる可能性があり、あるいは何であれそこにあるものが存在することを私たちは知っています。しかしもし科学がそれを検査すると何も見いださないでしょう。それらはどこから来るのでしょうか？なぜ科学者達はそれらを発見できないのでしょうか？なぜなら、それらは非常に微細で、もし彼等が種を調べても、その種からの結果を話すことができないでしょう。

　ですから、私たちは“無から無が現れる”と言うのです。何かを見いだすために科学がアプローチできること、科学は一体、Lifeの全ての本質にアプローチすることができるでしょうか？Lifeの本質の中に何があるかにアプローチできるでしょうか？できません。私たちは“無から無が出る”と言います、私たちが何かの実在についてアプローチする限り。空間とみなされる中から可能性として科学が何かを見ることができるとは思いません。なぜなら、そこは空間であり、何もないからです。しかし、Lifeが存在しない空間はありません。それでも科学は空間と言います。そこには何もないと。そこにはLifeのあらゆる可能性があります…創造界のあらゆるところに；しかし勿論、それを証明する手段は何もありません。しかしながら、それらに関して問いを生み出すことはできます。

Page4

Q：この地球上では野菜の廃棄物を肥料、コンポストなどとして利用します。ですから、同じ事が惑星についても言えるのではないかと思います。ある惑星が終わり、破壊されたら、そのエネルギーはその源のスーパーサブスタンスあるいはエネルギーに戻るのではないかと思います。

K：そうです、無駄になるものはありません。

Q：生命の木において、なぜミカエルはロゴスの側にあり、ラファエルは聖霊のサイドにあるのか説明してくれますか？

K：それに関する説明はありません。ただそうなのです。ミカエルは火を管轄し、ラファエルもまた火を管轄しています。なぜなら（＊ラファエルは）エーテルであり、それら全てで最終的にそれは火に属するものを管轄しています。なぜなら全ては火だからです。高次のレベルにおいて、火はとても大切な、有用なエレメントです。そして低次のレベルでは火は触媒的エレメントです。しかし全てのアークエンジェル達はLifeの本質は完全に現しており、それらはそれぞれ特定のエレメントを管轄しており、特定の仕事をしています。

　ですから、アークエンジェルたちは低次の波動において働いており、私たちはどのアークエンジェルの働きをも過小評価すべきではありません。

Q：なぜミカエルは常に剣を携えている姿として描かれ、ほとんどの場合に墓の上に立っていて、死はその下にあるのでしょう。そしてガブリエルはマリアのところに行って、彼女がキリストの母になると告げますが、なぜですか？

K：なぜ？もしあなたがレッスンに付いてきているならわかるはずです。物質が特定の形を帯びるためには水が必要だと言いました。そして肉体における水の割合は非常に高くなっています。なぜミカエルなのか？なぜなら彼はそのパーソナリティーに肉体を与えたからです…それによって二元性、性別の現れ、肉体を使うことができるようにです。彼は墓の上に描かれていますが、その理由は、彼はその肉体が分解するのを見ているのです。ミカエルがそのパーソナリティーに肉体を与えたので、彼が管轄しています。彼は物質の中へのロゴスの下降を管轄しています；ですからミカエルはがロゴスの側にあり、ガブリエルが聖霊のサイドにあるのです。

Q：肉体への下降に関して興味ある話しを聞きました。また本のなかで、肉体の中に下降すると3次元の世界がリアルになり、またイリュージョンをもたらすのはその肉体である、ということを読みました。

K：二元性を現すことによって、そのパーソナリティーは性別を持ちます（男性であろうと女性であろうと関係なく）、そしてその瞬間から無知のステートに入ります。しかし、肉体なしではそれは不可能です。そうです、肉体をもたないサイコノエティカル界ではそのパーソナリティーにとって物質界にいる時よりもずっと多くの可能性があります。勿論、やるべき仕事のプロセスが始まった後で（＊生まれた後で）、そのパーソナリティーはもう帰りたい、続けたくないと言って戻ることはできません。現在のパーソナリティーは前に進んで自己実現をし、そして最終的な仕事に達するのです。そうです、この肉体、それは手段であり、肉体を通じて現在のパーソナリティーという現れがあります；しかし自己実現するとそこには性別はなく、アダムとイブと蛇があります。つまり、二元性の能力とLifeの英知です。なぜなら、蛇はLifeの英知を意味するからです。

Q：私は次のような考えに魅了されています、つまり私たちは移動することができ、時間のなかで前に行ったり、過去に戻ったりでき、パーソナリティーは未来に起きる出来事を体験することができ、また過去に移動して過去に起きた出来事を体験できるというものです。

K：実際には、過去に起きたことを体験することはできますが、しかし未来に行くことはできません。そうです、過去に行き、何であれ汎宇宙的記憶にあるものを見ることができます。例えば、自己実現に到達したか、そこに非常に近いところまで進んだ他の惑星に起きたことを見ることができ、またある惑星が通過しようとしているステーション（＊レベル）を見ることはできます。しかし、その詳細を見たり、または体験することはできません。レッスンで述べましたが、全ての人間は14芒星の様々なステーションを通過しなければなりません…この地球において、または創造界における他の惑星において。

Page5

Q：夢を見て、それが実現した場合には未来に入って行った、そして何かが予め決まっていた、ということにならないでしょうか？そして一度でもそういうことが起きると、何らかのエネルギーがあなたの未来、出来事を計画したということにならないでしょうか？…次の24時間、48時間、あるいは次の一週間のこと等を。

K：はい、なぜならあなたはその夢から影響を受けたからです。あなたはそうと気づかずに、その夢のエレメンタルに同調し、エレメンタルが夢の実現を後押ししたのです。しかしそれは、予め決められていたと思われるかもしれませんが、そうではありません。実際、その出来事はその瞬間に計画されたのです。そのような理由で、私たちは霊的なヒーリングの場合ですら、何が起きるかは決して言いません。もしそれが決められているなら、どういう結果になるかを告げることができますが、しかしそうではないのです。

　私たちは可能性のサイクルと蓋然性のサイクルについて述べました。予め計画されたものなどありません、ただ可能性があるだけです；そのパーソナリティーが可能性を利用して現実のものとするのは、別の問題ですが。

　私たちは気づきのレベルとして自分をどのように現すかに従ってエレメンタルを創造します、気づきのレベルによってだけでなく、毎日の生活にどのように向き合うかにもよって；自分に何が起きるかの原因になるのは気づきのレベルだけでなく、日常生活にどのようにアプローチするかです、特に他の人々との関係において。私たちはエレメンタルを生み出し、そして勿論そのエレメンタルは周囲の人々にも影響を与え、また私たちもそれらの人々から影響を受け、つながっているのです。

　さて、私たちは同じエレメンタルをいつも生み出し続けます…自分の周囲の人々との関係でどのようなレッスンを与えられているかによって。その場合、毎朝の出来事が予め決められていると言えます。もし時間を予定して自分に言うとしたら、「そうだ、翌日の朝はこうなるだろう」と。その場合は答えはイエスです；次の瞬間とは非常に短い時間です；しかしもっと長い時間に関しては、どうなるかはそのパーソナリティー自身、そしてその周囲の人々が関係し、もしそのパーソナリティーがその瞬間どうするかを変えようとしなければ、その場合には変わるまで時間がかかります。しかし、あなたは今の瞬間から数週間、数ヶ月後のことについて「そうなる」などと言うことはできません。一般的に人々の行動の仕方とかによって自分達の行動の結果として物理的現象を生み出すかもしれません、どのように私たちが介入するかによって。

　しかし、SF映画を見ているように未来の時間のなかを旅することはできません。過去に旅をすることはできますが、しかし既に起きた事を変えることはできません。出来事を詳細に目撃することはできます、過去のその出来事が起きている時のそれを目撃することはできますが、それは映画を見るように見るのではありません。あなたは3次元にいますが、しかしそこには3次元の制限がありません；あなたは周囲を全部見ることができ、同時に様々な場所からそれを見ることができるのです。

Q：つまり、それは過去の出来事を変えることができるということですか。それともできないのですか？

K：すでに記録されている過去を変えることをLifeは許しません。結局、過去の結果として経験を経てきた全ての人間は、今「どこかで」この瞬間に生きています。あなたはどのような許可を得てそれらの人々の人生に干渉すると言うのですか？結局、それらの人々もまたあなたなのです。

　現在のパーソナリティーを活性化するスパークについて述べる時、実際この創造界における全ての人間を活性化するスパークについて述べるべきなのです。それは一つであり、全ての人々の内側にいる*神なのです*；それは神の微細な部分ではなく、全体としての*神なのです*。全ての人の内側における主、絶対存在です。

　絶対存在のワンネスのなかの無数のスピリットモナドセルフと言う時、そのワンネスとは多重性であり、多重性の可能性です、多重性です。それは私が言葉で説明できない何かです。

Q：しかし、私たちが行う全ての決断、それは話しの筋を選ぶようなものです。

K：現在のパーソナリティーは意識的に選択しません。スパークのある永遠のパーソナリティー、及び他のすべてのLifeのスパークは、その新しい現在のパーソナリティーが転生することに関与し、過去の全ての経験から考えて、新しい現在のパーソナリティーに必要な全ての経験、全てのレッスンを得るためのあらゆる可能性を与えます。なぜなら、前に説明したようにその新しいパーソナリティーとは過去の全ての転生とその体験を合計したものだからです；4分の１は新しいもので、それを変え、そして加えることのできる能力が付与されます。

　ですから、何であれ原因結果の法則が体験として指示していることを避けることも可能なのです。そしてそれに成功するためには、私たちは気づきのレベルを高め、現れの周波数を変える必要があります。もし私たちがそうすれば、何であれ原因結果の法則がレッスンとして体験するように指示していることを避けることも可能なのです。なぜなら、その場合、もはらそれは私たちには必要ないからです。何であれ私たちがエレメンタルとして創造したことがもはや私たちに影響を与えなくなるのです。なぜなら､私たちが過去生で生み出したエレメンタルが、転生後の私たちに影響を与え、その結果を今生で体験することになるからです。そのエレメンタルは私たちに影響を与えることができなくなり、そのエレメンタルは気づきの上昇と共に徐々にエネルギーを失っていきます。

Q：全てのエレメンタルは悪いのですか？私たちはある段階で何かを考え、何かを望みますが、それらは悪いものではありません。しかしそれらを望むのは悪いことなのですか？

K：良いエレメンタルと記憶のことを言っているのですか？勿論、それは悪くありません。なぜ良い記憶について考えるのが悪いのですか？

Q：何が起きて欲しいと思い、それについて考えます。例えば素敵な家が欲しいと考え、その家のことを考え、そしてエレメンタルが築かれます。そして最終的に家を建てますが、それは悪いことですか？

K：もしそのようなエレメンタルを生み出したり、あるいはそのようなエレメンタルにフォーカスすることがあなたの成長のプロセスに影響を与えたり、又は他の人々との関係に影響を与える場合、つまり人々を犠牲にして家を所有するような場合は、それは良いとは言えません。しかし、ただその様な家が欲しいと思い、他の誰にも影響を与えなければ、あるいはあなた自身へも影響を与えなければ、もちろん家を持ちなさい。それは悪くありません。しかしもしあなたがそれに執着し、そのような家を所有することに取り憑かれると今生ではそれは起きないでしょう。

Q：人々が引き寄せの法則と呼んでいる理論があります。それによると、もし何かについて考え、誰をも犠牲にすることなく、いつもそのことを考えていると、それを手に入れることができる、というものです。なぜなら、自分のまわりに自分が望むような世界を創るからです。

K：自分の夢のなかで、夢としてそれを創ります、勿論そうすることができます。しかし、絶えずそれを所有することを願い続けると、それは障壁となります。あなたは壁を創ることになります。そしもし何かを非常に強く願うと、もはやそれを必要としないときにそれが現実になるかもしれません。ですから、ベストなやり方は自分の願望を現し、そしてそれを忘れることです。

EREVNA PYR 72/KE07/L16